

《Japan Tariff Association》

関税 メールプレス

(No. 663) 2022. 9. 26 発行元：日本関税協会 長崎支部

第45回合同飼料分科会を開催しました

9月21日（水）、鹿児島市の“サンロイヤルホテル”において長崎税関監視部長、をはじめ税関幹部ご臨席のもと、長崎税関保税地域協議会との共催による「第45回合同飼料分科会」を開催しました。

当日は、飼料製造工場及び関連企業の会員25社39名のご参加のもと、幹事社として中部飼料(株)志布志工場 工場長 小宇都 祐二氏の開催挨拶、長崎税関監視部長 豊住 辰也氏の来賓挨拶に引き続き、長崎税関監視部 中村保税地域監督官から「飼料製造工場に係る注意点について」の説明が行われました。

講演会では、兼松株式会社 穀物飼料部飼料課 川畑 幸祐氏から「世界の粗飼料情勢とコンテナ物流について」と題して、“日本の粗飼料事情”、“昨今のコンテナ物流事情”、“世界の粗飼料事情（アルファルファ編・ビート編）など興味深い内容について分かり易く説明いただき、出席者は熱心に聴講されていました。

その後は、感染対策に十分配慮されたうえで懇談会が開催され、終始和やかな雰囲気の中、盛会裏のうちに幕を下ろしました。



〔中部飼料(株)志布志工場長 小宇都 氏〕



〔長崎税関監視部長 豊住 氏〕



〔兼松株式会社 川畑 氏〕



〔熱心に聴講される皆さん〕